



ぐんぱつじしん じしん 群発地震ってどういう地震なの

ぜんしん ほんしん よしん くべつ じしん 前震・本震・余震の区別がつかない地震

じしんは、かぎられたじかんなかで、つぎつぎおこりますが、そのなかで、とくにおおきいものを、ほんしんといいますが。ほんしんまえおこる、きぼちい規模の小さいものを前震、ほんしんあとおこるものを余震といいますが。

じしんおこり方には、ほんしんよしんぜんしんほんしんよしんじゅんおこるものと、ぜんしんほんしんよしんくべつくべつ区別が、つかないものがあります。この区別がつかない地震を、ぐんぱつじしん群発地震といいますが。

ぐんぱつじしんは、せまいちいきなかなんげつみじかきかん短い期間に、たくさんのちいじしん小さな地震が、つづおこります。

いずはんとうとうぶ おお 伊豆半島東部に多い

日本では、ぐんぱつじしんかざんかつどう火山活動がさかんなちいき地域で、よくおこります。いずはんとうとうぶ伊豆半島東部から、とうほうおきかいていそのとうほうおきには、およそ100こかざん個の火山があります。1975ねんごろから、いとうし伊東市のとうほうおきぐんぱつじしんかえお東方沖で群発地震が、くり返しおこっています。

1989ねんがつぐんぱつじしんおこり、いとうしおきかいていかざんふんか伊東市の沖で海底火山の噴火がありました。その後、1993ねんかいぐんぱつじしんおこりました。1995ねんがつにちじしん1995年9月29日から、地震の回数が多い、10がついたちは、いとうししんどじしんおこりました。

(監修・国司 真)

